

令和6年度 沖縄IT津梁パーク施設及び沖縄情報通信センター
指定管理者制度運用委員会におけるモニタリングの検証結果について
(令和5年度実績分)

1. 施設名：沖縄情報通信センター
2. 開催日時：令和6年8月8日（木）10:00-
3. 開催場所：沖縄IT津梁パーク 中核機能支援施設第1・第2会議室
4. 出席者：委員5人中 4人出席
(会長) 国立大学法人琉球大学工学部 准教授 國田樹
(委員) 沖縄県中小企業家同友会 理事 仲間高乃
(委員) 株式会社ベリサーブ沖縄テストセンター 事業推進部長 小川慶
(委員) 株式会社C&C沖縄 取締役 吉田 秀
(事務局) 沖縄県商工労働部ITイノベーション推進課
基盤整備班長 仲西、主査 井上、主任技師 照屋
(指定管理者) 沖縄情報通信センター管理運営コンソーシアム 比嘉、上地
5. 検証事項：沖縄情報通信センター（令和5年度実績）に係るモニタリングの実施結果
6. 検証内容
 - (1) モニタリングは適正に行われているか
 - (2) 指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか
 - (3) 利用者アンケートや苦情に対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか
7. 検証方法
 - (1) 事務局によるモニタリングの実施結果の報告
 - (2) 委員からの質疑・意見
8. 検証結果
沖縄情報通信センターの管理運営は、概ね適切に行われている。
9. 主な質疑・意見

(委員)	特別高圧に関して8月から県の補助が無いと聞いているが、今後の対応について教えてほしい。
(事務局)	7月末に県の担当課に確認したところ、現時点では検討していないとのことだった。新たな情報があれば随時共有する。
(委員)	蛍光灯の製造等が2027年までに廃止されると聞いている。施設におけるLED対策について、今後どのように進めていくのか。
(事務局)	当施設については県管財課が一括してLED化の業務を実施する。 3棟ともに今年度の施工を予定しており、計画では9月、10月に現場調査を行い、その後設置する。
(委員)	蓄電池の交換について、今後の計画はどうなっているか。

- (事務局) 令和7年度の予算要求を行っているところである。
- (指定管理者) 蓄電池については、日々の業務において劣化具合を把握し、県と情報を共有している。4機あるが、1機あたりの費用が1千万を超える。金額がかなり大きいため、県に予算措置をお願いしているところである。
- (委員) UPSの蓄電池を昨年度切り替えたが、古いものを施設内に保管している。環境マネジメント的に気になるので、撤去時期を教えてください。
- (事務局) 昨年度末に撤去する予定だったが、入札が不調となった。次年度予算で撤去費用を要求しているが、今年度の予算に余裕が出れば今年度実施したい。
- (指定管理者) 古い蓄電池は木箱に入れ平積みにしており、負荷がかからないように保管している。
- (委員) 防災に係る訓練について、入居者のうち約1割程度しか参加していない。訓練への参加の促し方を工夫する必要はないか。
- (指定管理者) 借りる機材の関係もあり、各社から3、4名程の参加をお願いしている。訓練は毎年度実施しており、未参加の方を優先に参加を促している。
- (委員) できる限り全員が立ち会うことが重要である。災害が起こってしまったからでは遅いので、危機意識を高めた方がいいと思う。
- (事務局) 今後、訓練参加の促し方を検討する。
- (委員) 会議室へのWifi導入を今後検討するとしているが、予算要求をしっかりとった方がいいのではないか。この稼働率でいいのか。予算要求の優先度を検討してほしい。
- (事務局) 当施設の性質上（セキュリティレベルが高く、だれでも出入り可能ではない。）、会議室は外部の方を受け入れていない。主に入居者が利用するための会議室となっている。
- (委員) 入居者からWifiについての意見が出ていることから、Wifiがないから、入居者も使用しないのではないか。セキュリティレベルの面であれば専用回線を使えばよいのではないか。どうやったらやれるのかを考えてほしい。

- (指定管理者) 会議室の稼働率は年間1、2回程度。各社個別で会議室を備えており、会議室が使用できないときにしか使わない。
- (委員長) 入居する方が会議室の利用を期待して入るか、そうでなければそもそも会議室が必要なのか。活用されない、利益を生まない会議室が妥当かどうか考える必要がある。
- (委員) 入居者の業態・ニーズに応じた設備が必要になってくるのではないかと。
施設の優位性をどう作るかというところが課題である。例えば太陽光の発電システムを作り、それで電気代を抑える、どんな規格にも対応できるサーバーラックが提供できる等、そういったものがあったりすると事業者から魅力的な施設だと思われる。
稼働率を上げるためにどういったサービスを検討すべきかアイデアを出し合っていけるのではないかと。
- (委員) 電力に関して、太陽光の設備を充実させることを検討することは可能か。この場合、県と事業者どちらが設置するのか。
- (事務局) 費用負担の面などすぐにお答えすることが難しいが、全体としてやる場合、県として今後検討する余地はあるかと思う。
- (委員) 空調の保守修繕で、直るまでどのくらいの期間がかかっているのか。また、壊れるパーツは決まっているのか。
- (事務局・指定管理者) 直るまで1月ほどかかった。壊れるパーツは決まっていない。予備でパーツを持っておくという話もあるが、個別機器で壊れるパーツも別なのでそれを備えておくのは難しい。
- (委員) 周辺パーツがトラブルを起こしているのではと思う。ノウハウにより修繕の時間を圧縮できるのではないかと。
壊れるところが決まっていれば故障の原因を追究する時間を短縮できる。
- (事務局) 今後、検討したい。
- (委員長) 施設の価値作りや設置目的等については、今後検討が必要な点があったかと思うが、令和5年度の指定管理者の運用状況という点では今年度の指標に基づき適切に評価がなされていたものと考えている。

10. 会議の公開状況：公開